

令和5年度 江戸川区立松江第六中学校 特別活動全体計画

学校の教育目標	開拓する心を身に付け、志をもち、自ら育つ生徒の育成 ・学び考える生徒 ・他を思いやる生徒 ・心身たくましい生徒
特別活動の目標	集団の一員としての自覚を高め、自主的・実践的な態度を育むとともに、望ましい人間関係を育てる。また、個性の伸長を図りながら人間としての生き方を考えさせ、自己を生かす能力を養う。
目指す生徒像	○集団の中で協力し積極的に活動する生徒 ○信頼と協力に基づく豊かな人間関係をもつ生徒 ○自己の将来に希望を持ち、自らの判断で進路を選択できる生徒
特別活動の重点目標	望ましい集団活動を通し、よりよい人間関係を築くための個人的な資質を育む。また、地域や地球環境を考える態度を育て、社会の一員としての自覚をもたせ、責任を果たす姿勢を育成する。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	集団の一員としてクラスや学校のために、自主的・実践的に行動する態度を育て望ましい人間関係の形成を目指す。	集団の一員として、よりよい学校生活を築くために、協調しながら、自主的・実践的に行動する態度を養う。	集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養うとともに自主的、実践的な態度を育てる。
指導の方針	(1)学級内の様々な活動において、自主的・実践的な態度を通し学級や学校生活づくりを図っていく。 (2)個々の生徒が抱える諸問題を通し、人間としての生き方を探究する。また、健康安全や食を中心として諸課題に対応するとともに、健全な生活を送るための資質や能力を育成する。 (3)生徒一人一人が、生きることについて真剣に考え、社会人・職業人としてたくましく自立していけるようにする。	集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、学校生活の改善向上を目指し、生徒が自発的、自治的に活動できるよう促し、望ましい人間関係を形成し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成する。	各教科、道徳、総合など他の教育活動との連携を生かし、学校生活全体の調和を図りながら実施する。また、家庭や地域との連携を図り、活力あふれる学校行事とする。
主な指導内容	(1)学級や学校の生活づくり (学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上) (2)適応と成長及び健康安全 (思春期の不安や悩みとその解決、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解と参加、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への対応、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成) (3)学業と進路 (学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計)	(1)生徒会の計画や運営 生徒総会、生徒会役員会、生徒評議委員会、生徒会役員選挙、学校新聞や生徒会誌の発行、地域行事等の紹介 (2)生徒の諸活動についての連絡調整 各種委員会による活動 (3)学校行事への協力 運動会、文化祭への協力 (4)生徒会による地域美化活動	(1)儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、着任式、離任式 (2)文化的行事：文化祭(学芸会)、学習発表会、音楽会(合唱祭)、作品発表会(展覧会)、写生会、弁論大会、音楽鑑賞会、伝統芸能等の鑑賞会、講演会、健康安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事 (3)健康安全・体育的行事：健康診断、薬物乱用防止教室、防犯教室、自転車教室、交通安全指導、避難訓練、防災訓練、運動会、球技大会、区陸上競技大会練習 (4)旅行・集団宿泊の行事：遠足、修学旅行、移動教室、集団宿泊(林間学校)、野外活動 (5)勤労生産・奉仕的行事：職場体験、各種の生産活動、上級学校や職場の訪問・見学、全校美化活動、地域社会への協力や校内外ボランティア活動
他 の 教 育 活 動 と の 関 連	各教科・読書科	話し合いや学年行事等の企画・立案においては言語による表現や意思疎通が不可欠である。これらの活動を支える基礎の力を、国語科や読書科をはじめ各教科の学習を通して培う。各教科で培われる能力と学級活動における実践が関連しあい、相乗的な効果が発揮できる。	文化祭については、国語科、読書科、社会科、数学科、理科、音楽科、美術科、技術・家庭科などの学習と関連を図る。また、運動会については、保健体育科の学習成果の発表及び美術科と関連を明確にする。音楽鑑賞教室、合唱コンクールについては、音楽科との関連を重視する。
	特別の教科 道徳	よりよい生活を築くために課題を見つけ、これを自主的に協力して解決していく自発的、自治的な生徒会活動を通して、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付ける。	次の行事については道徳性を養うことを特に重点的に扱う。 ・薬物乱用防止教室、防犯教室：生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・運動会：能力の違いを乗り越え互いに思いやり目標に向かい力を合わせる大切さを知る。 ・文化祭：様々な人々への感謝の気持ちを深め、協力して一つのものを作り上げる喜びを知る。 ・儀式的行事：日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。
	総合的な学習の時間	生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	社会とのかかわりを考える学習活動として行われる職場体験活動(チャレンジ・ザ・ドリーム)を勤労生産的行事の実施に替える。また、環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる自然体験活動を旅行・集団宿泊的行事の実施に替える。いずれも、学校行事の趣旨である学校集団や学校生活への所属感を深め、望ましい人間関係の形成や公共の精神などを養う活動であることを配慮する。
家庭や地域との連携	生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに家庭や地域の一員として生活しているため、学級活動の指導においては、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもっていることから、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。(3)の指導においては、地域人材の活用を図り、関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を工夫していく。	必要に応じて校内の活動だけでなく、地域社会との連携を深めたりするなど校外での活動への広がりを図るようになるために、家庭や地域との連携を深めその教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用した教育活動を工夫していく。	家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。
備考			